

平成 19 年度  
広報研修講座 実施報告

平成 19 年 8 月



社団法人コンピュータソフトウェア協会

---

---

## 目次

---

---

・ 講座概要 .....	2
・ 講師所感 .....	3
・ 講座内容 .....	4
・ 受講者アンケート集計結果 .....	6
・ 受講者からの声 .....	9
(参考) 平成 19 年度 広報研修講座アンケート .....	11

---

---

## 講座概要

---

---

### 1. 講座目的

新任広報担当者、これから広報実務を担当する者、広報の基礎知識を復習・確認したい者、を対象に、企業広報全般に関する基礎知識の習得を行い、広報担当者の育成を図る。

### 2. 講座内容

・1日目

(前半)「広報基礎概論」

広報の基礎 / 広報担当者の心構え / 広報の成功例、失敗例 / 広報媒体の現状と今後 / 多様化するメディアとマーケット(新しいメディアの登場 / Web、モバイル、フリーマガジン等)

(後半) マスコミの編集活動 / 記者からみた企業広報について

・2日目

「リリース」 実践講義

- リリース概論 / リリース作成に際して気をつけるポイント (5W1H)
- 良いリリース・悪いリリース / リリースの書き方 (実践編) / 総括
- 研修内容および、広報業務全般に関する Q&A

### 3. 開催日時

平成 19 年 7 月 19 日 (木) 14:00 ~ 18:00

平成 19 年 7 月 20 日 (金) 14:00 ~ 18:00

### 4. 会場

CSAJ 会議室

### 5. 受講者

13 名 (内訳 : CSAJ 会員 12 社 12 名、一般 1 社 1 名)

### 6. 受講者特典

書籍進呈 / 「記者ハンドブック〔第 10 版〕新聞用字用語集」(共同通信社)

---

---

## 講師所感

---

---

**磯部 元志 氏 (CSAJ 広報研究会 メンバー)**  
**〔株式会社メディア・ソリューション 代表取締役〕**

広報研究会では、平成 16 年から、企業広報のあり方についての勉強会を開催しています。広報活動の評価方法から、危機管理、社内広報など、テーマは様々です。広報活動は、企業にとって欠かすことができないものになっていますが、バイブルのようなものはありません。その時々的情勢に沿って臨機応変に対応せざるを得ないのが広報です。広報研究会では、そうした情勢変化を敏感に捉え、今後も、魅力ある企画を立案していきたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

**佐藤 宏之 氏**  
**〔株式会社メディア・ソリューション 取締役〕**

IT 業界の広報活動は特別ではありませんし、BtoB だから記事にならないこともありません。他業界同様、広報に関する基礎を理解した担当者を育成し、積極的な活動をしていく必要があります。指導者も社内にはない事情もあり、企業単位のみならず、業界をあげて広報への取り組みを強化しなくてはならないと感じております。

---

---

## 講座内容

---

---

### 1 日目

#### ・ 広報基礎概論

広報担当者が、広報基礎知識として把握しておくべき事項等について説明を行った。  
主な内容（項目）は以下の通り。

- 広報 PR とは
- 広報の役割（広報と広聴の違い）
- 広報の使命
- 広報担当者的一天（事例紹介 / 行うべき業務・活動について）
- 広報担当者のスタンス
- 広報担当者に求められるスキル、センス
- メディアの変貌
- 消費者の信用媒体について
- メディアの位置づけ

#### ・ マスコミの編集活動 / 記者から見た企業広報について

新聞社の組織体制や編集局の活動など、記者の視点から見た広報について説明を行った。主な内容（項目）は以下の通り。

- 新聞社 編集局の組織体制について
- 新聞が出来上がるまでの流れ
- 新聞の種類
- 記者クラブとは
- 新聞以外のメディアについて（雑誌・テレビ・WEB・モバイル）
- メディアの組織について
- 編集局の一日（事例紹介 / 編集局の動きについて）
- 雑誌編集部内のニュースの流れ
- デスクの視点
- 記者の取材の視点
- 編集部・記者から見た良い企業広報

#### ・ WEB サイト閲覧者に関する事例紹介

#### ・ 事前課題に関する質疑応答

#### ・ 名刺交換・受講者交流

---

---

## 講座内容

---

---

### 2 日目

#### ・リリース 実践講義

ニュースリリース作成に関する視点・意図などについて説明を行った。主な内容(項目)は以下の通り。

- 記事について
- 記者の視点
- 演習 1
  - 〔ニュースリリースを元に、記事を作成      その場で添削〕
- ニュースリリースとは
- ニュースリリースの作成
- ニュースリリースのポイント
- 演習 2
  - 〔参考データを元に、リリースを作成      その場で添削〕
- リリース発信する内容
- 嫌われるリリース

#### ・1 日目演習課題のニュースリリース添削

#### ・名刺交換・受講者交流

---

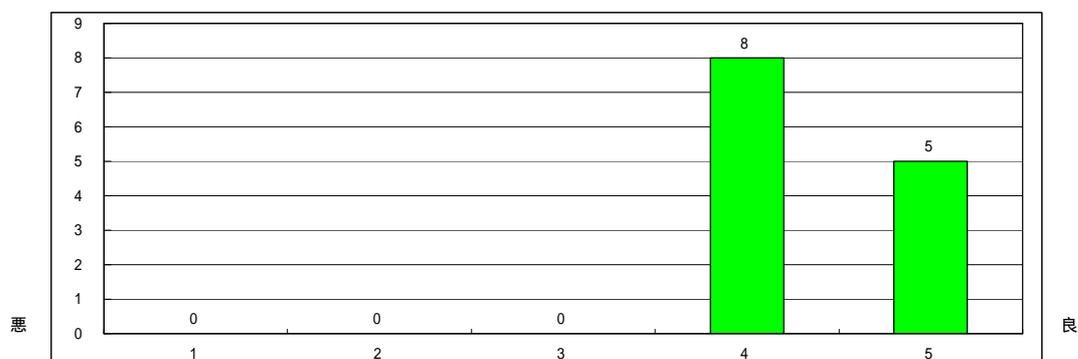
---

## 受講者アンケート集計結果

---

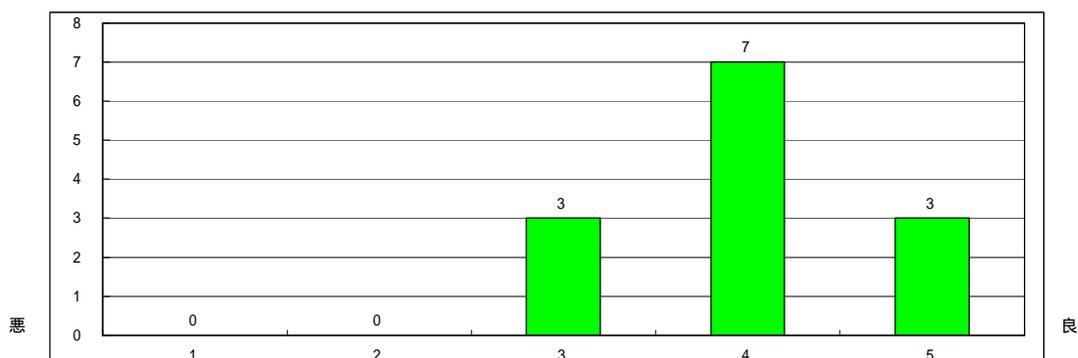
---

### 今回の講座（全体）について



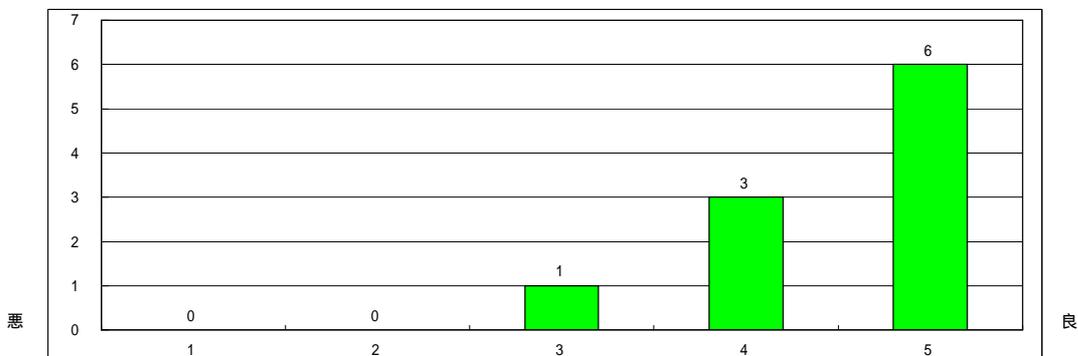
回答者全員が高い満足度を示す結果となった。

### 1日目の講義について



概ね高い満足度を得られた結果となった。

### 2日目の講義について



実際にリリースを書き添削するなど、実践的な演習が高い評価を得た。

---

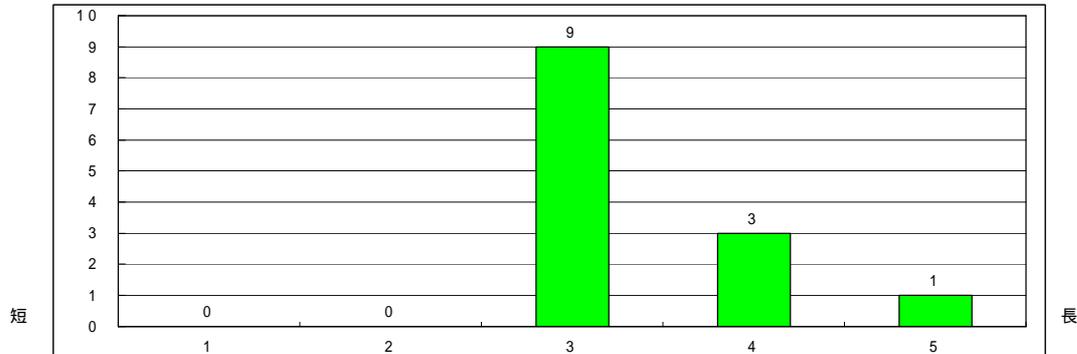
---

## 受講者アンケート集計結果

---

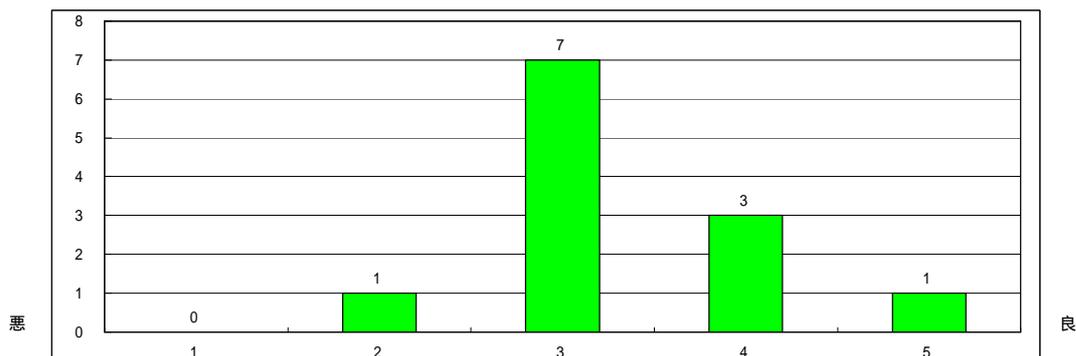
---

### 開催期間（2日間）について



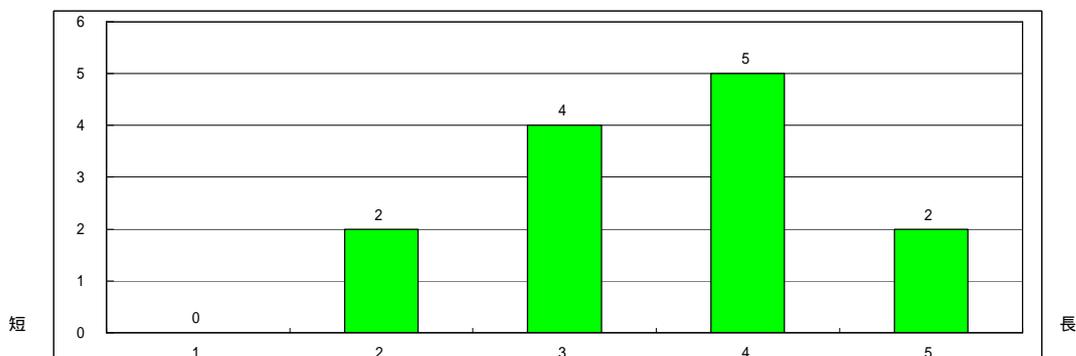
概ね適当な期間であると考えているが、少し長いと感じている意見もあった。

### 休憩時間の取り方について



休憩時間の取り方は、概ね適当だという意見であったが、一方、名刺交換と休憩を別にすべきという意見もあった。

### 受講時間（トータル8時間）について



受講時間は、やや長いと感じる意見が多かった。

---

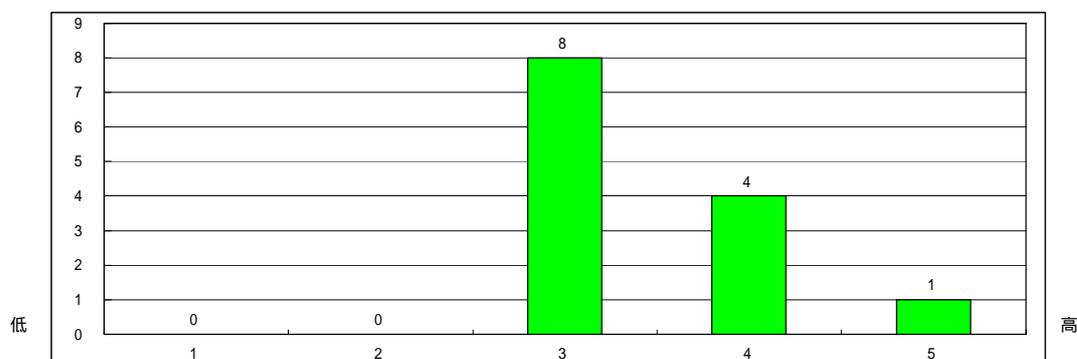
---

## 受講者アンケート集計結果

---

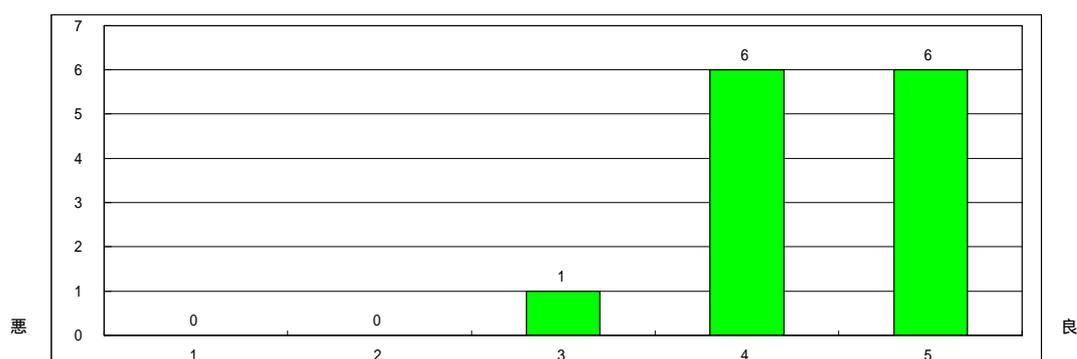
---

### 受講料について



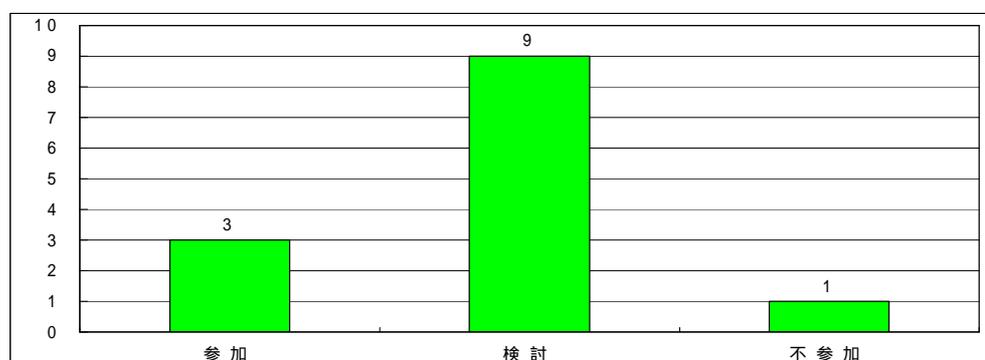
受講料は、やや高いと感じる意見があった。

### 事務局の対応について



事務局の対応は、特に問題なかった。

### 中級向け広報研修講座を実施について



参加もしくは参加を検討するという回答が、大勢を占めた。

---

---

## 受講者からの声

---

---

### 喜びの声

- ・ 全体的に実際の新聞などを使って講座が進んだため、実践的で分かりやすかった。
- ・ 講師の説明・話し方も分かりやすく、大変良かった。
- ・ 広報基礎概論からリリース作成に至るまで、2日間で幅広く学べたため大変充実した内容だった。
- ・ 講師のお話も、これから広報業務を行っていく上で、参考になるものばかりだった。
- ・ これから広報担当者として活動するための心構え、コツなどが飲み込めた。
- ・ 今回、初めて広報研修講座を受講した。新人広報担当者に向けての講座内容だったので良かった。
- ・ 広報担当者としての心構え、新聞を作る立場の色々な情報が分かりやすかった。
- ・ 記者との付き合い方は、会社では教えてもらえないことだったので、ぜひ身に付けていきたい。
- ・ 参加者の方々と話をするのができ、とても学びやすい環境だった。
- ・ 期待した以上の成果が得られた。
- ・ 広報関係の研修については初めての参加で、広報担当者としての心構えやマスコミへの対応方法等とても勉強になった。
- ・ 講座内容は、とてもわかりやすい説明であったこと、経験談を多くお話していただいたので、イメージしやすかった。
- ・ 基本的な内容から、リリースの書き方の実践など大変参考になった。
- ・ とても有意義な時間となった。特に2日目の実践では、実際に講師に添削いただくなど、滅多に体験できないことをしていただき良かった。
- ・ 2日目にリリースや原稿を実際に書いた際、すぐにフィードバックがあったので、自分は何が出来ていないのかが明確に分かった。
- ・ リリースに対して直接赤入れしていただくなど、リリース作成において非常に参考になった。
- ・ リリースの作成を、講座内で添削していただいたのは、とても勉強になった。
- ・ リリース作成実践を中心とした研修でとてもためになった。また、リリース作成について少しだが自信がついた。
- ・ 参加された受講者全員、プラス講師の方々と名刺交換を行え、今後のリレーションも期待できる。
- ・ 広報といっても、会社の規模や業態、顧客の種類によって内容は変わってくるので、より実践的な内容となると、当てはまる会社、そうでない会社の差が出てしまうので、概論的な話が中心でよかった。

---

---

## 受講者からの声

---

---

### ニーズ・要望

以下のニーズがあった。

- ・ ニュースリリースを配信するためのメディアリストの作成方法
- ・ 広報活動開始のために収集しておくべき自社の情報について
- ・ 兼任担当者でも出来る広報業務
- ・ 懇親会の実施
- ・ グループ討議

以下の要望があった。

- ・ 地方参加者のための早い時間からの実施
- ・ 連日開催ではなく間隔を空けての開催

### 今後希望する講座

以下の講座ニーズがあった。

- ・ マーケティング、市場調査、新商品企画関連の講座。
- ・ 実際の出版社や新聞社などを見学しながらできる広報講座。
- ・ 社内報や販促品の作成について、IRの初級、著作権などについての講座。
- ・ 普段なかなか知り合うことのできない様な有名講師の講義。
- ・ 広聴のコツ、社内広報のコツ。
- ・ 広報・広告。

## 平成 19 年度 広報研修講座アンケート

今後の事務局運営の参考にさせていただくために、以下アンケートへご協力をお願いします。

- ・各設問の適合する番号に をお付けください。
- ・記述部分は、ぜひ忌憚のないご意見・ご感想をお寄せください。
- ・本アンケートは、集計し、その結果を CSAJ 広報研究会等で使用する場合がございますが、その際、社名等は一切表示いたしません。

低・短・悪 ←	評価					→ 高・長・良	自由記入欄
今回の講座（全体）について							
1	2	3	4	5			
1日目の講義について							
1	2	3	4	5			
2日目の講義について							
1	2	3	4	5			
開催期間（2日間）について							具体的な期間をご記入ください
1	2	3	4	5			
休憩時間の取り方について							
1	2	3	4	5			
受講時間（トータル8時間）について							具体的な時間をご記入ください
1	2	3	4	5			
受講料について							具体的な金額をご記入ください
1	2	3	4	5			
事務局の対応について							
1	2	3	4	5			

今回の広報研修講座に対するご意見・ご感想を、ご記入ください。

今回の広報研修講座は初級向けでしたが、中級向けの広報研修講座を実施した場合、参加したいですか（ 参加したい ・ 検討する ・ 参加しない ）

今後どのような講座をご希望ですか（いくつでも）

ご協力ありがとうございました

## **平成 19 年度 広報研修講座 実施報告書**

---

平成 19 年 8 月 発行

発行 社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)  
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-2 秀和溜池ビル 4 階  
TEL : 03-5157-0780 FAX : 03-5157-0781  
URL : <http://www.csaj.jp/>

---

©2007 Computer Software Association of Japan